

第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書が決まりました。高校生の部は、『ラブカは静かに弓を持つ』『タガヤセ！日本』『昆虫の惑星』です。

| | | | |
|---|---|--|--|
|  <p>川ほりに立つ者は 寺地はるな 著 双葉社 恋人が主人公に隠していた秘密から始まる物語です。“自分に不幸が重なっている”と思う時がありませんか。一方の視点からだけでは主観的で自分本位になってしまいます。そして、他人を気遣う余裕がなくなってしまうところが共感出来ました。客観的な視点が大事だと思いました。(201 図書委員)</p> |  <p>光のところにいてね 一穂ミチ 著 文藝春秋 性格も家庭関係も違う二人は、二度の別れと再会を経て、お互いを深く思い合う。全てを捨ててでもずっと傍にいたいと思える、光のような人に出会ってしまったら、誰もがその光に向かうだろう。登場人物全員が幸せになるラストではないところが新鮮で面白いと感じました。(302 図書委員)</p> |  <p>102歳、一人暮らし。 石井哲代 著 文藝春秋 尾道市で暮らしている102歳の哲代さんの人柄を全編に渡って感じる事が出来ます。ご長寿でありながらも自立し、自律している姿から、常に向上心を持ち続けることの大切さなど、私たち若者も学ぶべきところが多くあります。(303 図書委員)</p> |  <p>恋とそれとあと全部 住野よる 著 文藝春秋 何事も気にし過ぎる女の子と、彼女に片思いをしている男の子の恋の話です。夏休みに、夜行バス乗車で祖父宅へ行く旅は…。高校生らしい青春を感じられる一方、どこか自分の体験と重なる部分があり、読んでいるといつの間にか本の中に引き込まれていました。(303 図書委員)</p> |
|  <p>不可能を可能にする大谷翔平120の思考 大谷翔平 著 ぴあ エンゼルスで活躍する著者が、「小さい時から、ずば抜けた成績を残してきたわけではありません」と記している。甲子園は2回とも初戦敗退だが、負けず嫌いで集中できる性格。勝てなかった悔しさが、向上心に繋がっていると感じます。(105 図書委員)</p> |  <p>Documentary ドキュメンタリー Superfly 越智志帆 著 新潮社 私はSuperflyの曲が好きです。著者が歌う『ドクターX』主題歌『タマシイレボリューション』はパワフルです。今治市で生まれ、松山市で学生時代を送った著者の、詩を綴る日常を語るように書かれたエッセイは、歌とのギャップを感じさせられたり、歌の世界に繋がっているなど感じたりします。(104 図書委員)</p> |  <p>東京ディズニーランドパーフェクトガイドブック ディズニーファン編集部 編 修学旅行前に読んで、効率よく園内を巡れるよう準備することをお勧めします。人気の7大アトラクションが掲載されています。第3位はスプラッシュマウンテン、第2位はビッグサンダーマウンテン、第1位は何か、貸出して確かめてください。(102 図書委員)</p> |  <p>東京ディズニーシーパーフェクトガイドブック ディズニーファン編集部 編 東京ディズニーシーの施設について詳しく書かれており、修学旅行でここに行く私は、事前に読んで、お目当てのアトラクションが見つかりました。パーク内に隠された像のストーリーを知って、ディズニーシーをもっと楽しむことが出来ます。(202 図書委員)</p> |
|  <p>サブスクの子と呼ばれて 山田悠介 著 河出書房新社 人材サブスクが広まった世界。児童養護施設で育った怜は、同じ施設の灰花(ほのか)を「絶対に守る」と言っていたが、高1の時に悲劇が訪れてしまった。弁護士になった怜が、別人のようになった灰花を救うために行った調査で分かった事実には、僕は頭が真っ白になった。(101 図書委員)</p> |  <p>ヴェールドマン仮説 西尾維新 著 講談社 家族全員が名探偵という、あり得ないような環境の中、主人公は名探偵ではなく、いたって平凡という設定が面白かったです。著者の独特の言葉遊びのような文章は、読んでいて楽しかったです。(204 図書委員)</p> |  <p>かみきこうち 神木隆之介 著 NHK出版 私は室戸を訪れたことがあります。土佐和紙、鯉の薫焼き体験などの紀行で、終始著者の言葉に共感できました。朝ドラ『らんまん』主演の著者は、高知県立牧野植物園を訪れ、「富太郎が寝たきりになった時、昭和天皇からお見舞いにアイスクリームが届いた話」に驚いています。(103 図書委員)</p> |  <p>青少年赤十字のひみつ 宮原美香 著 学研 青少年赤十字の活動は、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」という3つの柱があることを知りました。赤十字の歴史や意味、災害時にどう行動すれば良いかを学ぶことが出来ました。(101 図書委員) 本書は電子書籍でも読むことが出来ます。 電子書籍 https://bpub.jp/gakken-himitsu/</p> |